

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社

コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 光廣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社経営企画部長 (氏名) 国丸 洋 TEL 06-6346-5221

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	43,251	17.6	1,715	△33.6	1,665	△35.0	1,054	△33.8
29年3月期第1四半期	36,764	△12.0	2,584	△27.7	2,564	△30.4	1,592	△35.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 966百万円 (104.5%) 29年3月期第1四半期 473百万円 (△82.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	24.31	-
29年3月期第1四半期	36.77	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	218,195	146,779	63.6
29年3月期	214,341	146,662	64.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 138,674百万円 29年3月期 138,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	10.00	-	20.00	30.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	10.00	-	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	86,000	20.8	1,400	△73.6	1,300	△75.4	1,100	△64.3	25.37
通期	180,000	23.3	5,900	△26.0	5,400	△31.9	3,900	△18.5	89.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	44,898,730株	29年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,539,486株	29年3月期	1,551,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	43,350,179株	29年3月期1Q	43,293,213株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移する中、中東・北朝鮮における地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要需要先である国内建設用鋼材市場では、建築・土木分野ともに一部には需要回復の兆しがあるものの、本格的な盛り上がりには至りませんでした。原材料である鉄スクラップの価格は期初に上昇した後下落に転じ、これにより製品先安観が台頭する中、当社グループは製品価格の維持・引上げに努めました。

これらの結果、当社グループの連結売上高は前年同期対比6,487百万円（17.6%）増収の43,251百万円となりました。連結営業利益は前年同期対比869百万円（33.6%）減益の1,715百万円、連結経常利益は同898百万円（35.0%）減益の1,665百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同538百万円（33.8%）減益の1,054百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

## ① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量は前年同期対比1.7万トン減の41.0万トンとなりました。鉄スクラップの価格は前年同期対比トン当たり5.7千円（26.0%）上昇しましたが、製品価格が同6.6千円（13.6%）上昇したため、利益の源泉となる売買価格差（製品と原材料価格との差額）は0.9千円（3.5%）拡大しました。しかしながら、エネルギー費や副原料等の製造コストが前年同期対比上昇しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比2,045百万円（8.9%）増収の24,995百万円、営業利益は同489百万円（25.7%）減益の1,410百万円となりました。

## ② 海外鉄鋼事業

当事業部門は、ベトナムと米国で事業を展開しております。当第1四半期より、米国のビントン・スチール社（VS社）の損益を連結決算に加えております。

ベトナムにおいては、同国の経済成長を背景に、鋼材需要の伸びを期待した同業他社の能力増強等により競合環境は厳しさを増しておりますが、当第1四半期は需要期ということもあり、一定程度の利益を確保しました。また、米国においては、製造・販売拠点であるVS社がほぼ計画通りの拡販とコスト削減を進め、利益を計上しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比4,669百万円（39.0%）増収の16,636百万円、営業利益は同131百万円（20.4%）減益の511百万円となりました。

## ③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、積極的に高付加価値処理案件獲得に取り組みましたが、競合環境が厳しさを増しており、売上高は前年同期対比239百万円（13.4%）減収の1,546百万円、営業利益は同218百万円（60.2%）減益の144百万円となりました。

## ④ その他

子会社を通じて土木資材の販売および保険代理店業等を行っており、売上高は前年同期対比12百万円（18.4%）増収の75百万円となり、営業利益は同1百万円増益（前年同期は1百万円の損失）の0百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5,360百万円（4.6%）増加し、121,410百万円となりました。これは、現金及び預金が1,206百万円、受取手形及び売掛金が2,795百万円、商品及び製品が2,897百万円増加し、有価証券が1,800百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,506百万円（1.5%）減少し、96,785百万円となりました。これは、投資有価証券が492百万円増加し、建物及び構築物が448百万円、機械装置及び運搬具が1,537百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3,854百万円（1.8%）増加し、218,195百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4,835百万円（9.7%）増加し、54,868百万円となりました。これは、短期借入金が6,312百万円増加し、未払法人税等が581百万円、流動負債その他が644百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,097百万円（6.2%）減少し、16,548百万円となりました。これは、長期借入金が1,258百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,738百万円（5.5%）増加し、71,416百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて116百万円（0.1%）増加し、146,779百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益1,054百万円、剰余金の配当869百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.6%から、63.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結会計期間（7－9月期）におきましては、国内鉄鋼事業については、鉄スクラップ価格の上昇が見込まれるものの、概ね当初計画通りの利益を計上できるものと見込んでおります。一方、海外鉄鋼事業については、ベトナムにおいて、セーフガード措置の影響による半製品価格の高止まり、製品市況の下落等に伴う売買価格差の縮小や製品在庫評価損計上が見込まれること等から、利益面において当初計画を相当額下回る見通しです。なお、米国のVS社の業績は計画通り進捗しております。

このような情勢を踏まえ、平成29年4月28日の「平成29年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を変更いたします。

なお、下期業績予想につきましては、本年10月以降の事業環境を現時点で見通すことは困難であるため、据置きといたします。

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,446	40,652
受取手形及び売掛金	35,584	38,379
有価証券	8,400	6,600
商品及び製品	15,573	18,470
原材料及び貯蔵品	13,652	13,735
その他	3,509	3,685
貸倒引当金	△115	△111
流動資産合計	116,050	121,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,167	17,720
機械装置及び運搬具(純額)	37,341	35,804
土地	23,993	23,975
その他(純額)	1,398	1,503
有形固定資産合計	80,900	79,002
無形固定資産	1,989	1,909
投資その他の資産		
投資有価証券	11,116	11,608
その他	4,349	4,330
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	15,401	15,875
固定資産合計	98,291	96,785
資産合計	214,341	218,195

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,967	12,105
短期借入金	24,388	30,700
1年内返済予定の長期借入金	3,041	2,954
未払法人税等	949	368
賞与引当金	701	486
役員賞与引当金	110	23
その他	8,877	8,233
流動負債合計	50,034	54,868
固定負債		
長期借入金	13,427	12,168
繰延税金負債	920	1,087
再評価に係る繰延税金負債	2,433	2,433
役員退職慰労引当金	9	10
退職給付に係る負債	76	77
その他	779	773
固定負債合計	17,644	16,548
負債合計	67,678	71,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,493	21,493
利益剰余金	91,730	91,914
自己株式	△1,915	△1,892
株主資本合計	129,823	130,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,952	2,305
繰延ヘッジ損益	40	40
土地再評価差額金	4,618	4,618
為替換算調整勘定	1,930	1,657
退職給付に係る調整累計額	2	23
その他の包括利益累計額合計	8,542	8,643
非支配株主持分	8,298	8,105
純資産合計	146,662	146,779
負債純資産合計	214,341	218,195

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	36,764	43,251
売上原価	31,491	38,532
売上総利益	5,272	4,719
販売費及び一般管理費	2,689	3,004
営業利益	2,584	1,715
営業外収益		
受取利息	54	73
受取配当金	100	126
持分法による投資利益	37	7
為替差益	25	2
その他	51	62
営業外収益合計	268	270
営業外費用		
支払利息	269	258
その他	19	62
営業外費用合計	288	320
経常利益	2,564	1,665
特別利益		
固定資産除売却益	111	2
特別利益合計	111	2
特別損失		
固定資産除売却損	100	29
事業整理損	60	—
事故関連損失	—	167
その他	14	7
特別損失合計	173	204
税金等調整前四半期純利益	2,502	1,464
法人税等	694	329
四半期純利益	1,808	1,135
非支配株主に帰属する四半期純利益	216	81
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,592	1,054



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,808	1,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△465	353
為替換算調整勘定	△891	△548
退職給付に係る調整額	21	21
繰延ヘッジ損益	—	6
その他の包括利益合計	△1,335	△168
四半期包括利益	473	966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	726	1,155
非支配株主に係る四半期包括利益	△254	△189

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	22,950	11,966	1,785	36,701	63	-	36,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72	-	409	481	-	△481	-
計	23,021	11,966	2,194	37,181	63	△481	36,764
セグメント利益又は損失(△)	1,900	642	363	2,904	△1	△320	2,584

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、土木資材販売業・保険代理店業等であります。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△320百万円には、セグメント間取引消去20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△340百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	24,995	16,636	1,546	43,176	75	-	43,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37	-	247	284	-	△284	-
計	25,032	16,636	1,792	43,460	75	△284	43,251
セグメント利益	1,410	511	144	2,066	0	△352	1,715

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、土木資材販売業・保険代理店業等であります。
- 2 「セグメント利益」の調整額△352百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△356百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

海外鉄鋼事業セグメントにおいて、前連結会計年度に連結子会社米国共英製鋼会社を通じてビントン・スチール社及び同社子会社1社の持分を100%取得したことに伴い、暫定的に算定されたのれん375百万円を計上していましたが、取得原価の配分が完了したことから、705百万円に変動しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。